

科目名 (英)	就職講座 Career Development	年次	2	実務経験	担当	工藤竹啓
		授業形態	講義			
学科・コース	美容師実践科	時間数	30	有	開講区分	
		単位	1		曜日・時間	
講師紹介	美容業界に従事してきた講師が、就職活動に向けコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。自身が身に付けた美容業界で必要とされるための知識・コミュニケーション力の発揮の仕方などをお伝えします。					
目的 科目概要	美容業界の仕事、職種内容の理解を深め、職業選択を決める。また社会人に必要な身構え、気構え、心構えを身につける。					
到達目標	プロの職業人を目指すにあたり、美容業界に必要な基礎知識・業界情報を理解し、職業選択を決定する。 笑顔であいさつができるようになっている。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	Hand-book of Life Style	事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。			
教材	筆記用具ノート					
特記事項	必要事項はメモをとること					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	自己紹介	自己紹介をすることでコミュニケーションを図りより良いクラス作りをする。
2	クラス目標	1年後の自分、クラスを創出し目標を決め、またクラスルールを自分たちで決める
3	就職活動の心構え	就職活動を行う上での心構えを理解する
4	業界について知る	美容業界の職種について自分のやりたいことを見つける
5	職業研究	美容業の職種(スタイリスト、ヘアメイク、ブライダル)を理解する。
6	プロの職業人を目指すにあたって	プロの職業人を目指すにあたっての必要な知識を吸収する。
7	中間試験	入学してからを振り返り、学べたこと・今後身につけていきたい事をまとめる。
8	国際教育について	海外の美容業界を理解する。
9	プロの職業人を目指すにあたって	プロの職業人を目指すにあたっての必要な知識を吸収する。
10	就職・実習に向けて今から準備すること、 重要事項を知る	就職・実習に向けて今から準備すること、重要事項を理解する。
11	プロの職業人を目指すにあたって	プロの職業人を目指すにあたっての必要な知識を吸収する。
12	夏休みにあたっての重要事項	長期休暇を使って、準備しておきたい項目を理解する。
13	アンガーマネジメント	アンガーマネジメントを体験することで、自分自身をセルフコントロールできるようになる。
14	定期試験	美容業界やプロの職業人についての知識をアウトプットすることが出来る。
15	定期試験振り返り	わからない分野の洗い出しをし、必要な知識の整理をする。整理をすることで職業選択の決定につなげる。

科目名 (英)	美容技術理論 Beauty technology theory	年次	1	実務経験	担当	工藤竹啓
		授業形態	講義			
		時間数	30	有	開講区分	
学科・コース	美容師実践科	曜日・時間				
単位	1					
講師紹介	美容業界に従事してきた講師が、就職活動に向けコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。自身が身に付けた美容業界で必要とされるための知識・コミュニケーション力の発揮の仕方などをお伝えします。					
目的 科目概要	国家試験科目・美容全般にかかわる技術の理論、取り扱い器具、薬剤知識を学ぶ。					
到達目標	実際に学ぶ実技授業の理論・知識を習得する。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	美容技術理論Ⅰ・美容技術理論Ⅱ		事前事後 学習と その内容			
教材						
特記事項	ノート・筆記用具(色ペン・マーカー含む)を用意する。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	序章 美容技術理論をまなぶにあたって(P4～13)	技術を学ぶにあたって必要な人体の名称や姿勢等を理解する。
2	第1章 美容用具(P14～33)	技術で使用する用具等を覚える。
3	第2章 シャンプーイング(P34～48)	シャンプーの目的・種類・成分等
4	第2章 シャンプーイング(P49～63)	リンス・コンディショナー・トリートメントの種類等・スカルトリートメント・ヘッドスパ
5	第4章 ヘアカットイング(P86～103)	美容刃物・姿勢・ブロッキング・カットの基礎理論
6	第4章 ヘアカットイング(P104～124)	ベーシックなカット技法・シザーズ、レザーによるカット技法
7	中間試験	試験範囲(序章・第1章・2章・4章)
8	第5章 パーマネントウェービング(P126～137)	パーマの歴史・理論・種類
9	第5章 パーマネントウェービング	パーマ剤に関する注意事項・技術・バリエーション・縮毛矯正
10	第7章 カラーリング(P220～232)	カラーリングの理論・種類・メカニズム・色の基本・毛髪のレベルとアンダー トーン
11	第7章 カラーリング(P233～243)	パッチテスト・道具、技術手順
12	第10章 メイクアップ(P72～88) 美容技術理論Ⅱ	メイクアップの基礎知識・色彩・道具・スキンケア
13	第10章 メイクアップ(P88～103) 美容技術理論Ⅱ	ベースメイク・アイメイク・アイブロウ・リップ・ブラッシュオン
14	定期試験	試験範囲(第5章・第7章・第10章)
15	振り返り・定期試験解説	振り返り・定期試験解説

科目名 (英)	美容実習 Beauty practice	年次	2	実務経験	担当	加藤亜希
		授業形態	演習			
		時間数	120	有		
学科・コース	美容師実践科	単位	4			
講師紹介	実技国家試験に携わってきた講師が、国家試験の基準をもとに国家試験実習課題・衛生課題の授業をおこなう。自信をもって本番に挑んでほしいと願っていますので、理論に基づいた手技の指導を徹底します。わかった！やってみたい！やれそうだ！という経験をしてほしい。					
目的 科目概要	国家試験 第一課題の習得、第二課題の習得、衛生試験の実践をする。					
到達目標	国家試験の衛生の項目を正しく実践できる。実技は、正しい姿勢で手順を覚え、適正タイム+5分で全頭を完成させる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 □ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	美容技術理論 I	事前事後 学習と その内容	※使用するウィックの番号を間違えないように持ってくること。(3体)			
教材	適宜					
特記事項	筆記用具を持参・衛生の導入をしたら、以降はすべて準備すること					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	衛生導入・国試カット(再導入)	衛生をするにあたっての準備物の説明、セットの仕方、国家試験手順の再確認、手順表作成 (1)
2	衛生導入・国試カット(再導入)	衛生準備の仕方、ブロッキングと姿勢の確認 (1)
3	エアーカット用のウィックをつくる	エアーカット用のウィックをつくる(ブリーチ)(14ベースで切る) (1)(2)
4	エアーカット・WD	エアーカットテスト①ペアで実践・WD25分・センターのおさらい (1)
5	エアーカット・WD	エアーカットテスト②ペアで実践・WD25分・フロントとBS(うわ巻き)のおさらい (1)
6	エアーカット・WD	エアーカットテスト③ペアで実践・WD25分・ネープのラウンドのおさらい (1)
7	中間試験	エアーカット10点・WD5点・衛生5点 (1)
8	国試カット・AW(再導入)	L23③14ベース・エアーカット・/Aw1, 2, 3段目強化 (3)
9	国試カット・AW(再導入)	L23②14ベース・エアーカット・/Aw1, 2, 3段目+左右ウエーブ強化 (2)
10	国試カット・AW	L23③12ベース・エアーカット・/Aw1, 2, 3段目強化+左右ウエーブ強化 (3)
11	国試カット・AW	L23②12ベース・エアーカット・/Aw1, 2, 3段目+左右ウエーブ強化+リフトカール強化 (2)
12	国試カット・AW	L23③10ベース・エアーカット/AW1, 2, 3段目+左右ウエーブ強化+リフトカール強化 (3)
13	国試カット・AW	L23②10ベース・エアーカット/AW1, 2, 3段目+左右ウエーブ強化+リフトカール強化 (2)
14	国試カット・AW	L23①エアーカットのみ/AW1, 2, 3段目+左右ウエーブ強化+リフトカール強化 (1)
15	定期試験	L23①25分・20点/AW全頭25分・20点/衛生10点 (1)

科目名 (英)	テクニカルデザイン Technical Design	年次	2	実務経験	担当	小山 文生
		授業形態	演習			
		時間数	60	開講区分		
学科・コース	美容師実践科	単位	曜日・時間			
					2	
講師紹介	美容師として19年勤務し、お店の幹部として営業や後輩の指導、育成に力を注ぐ。自店のオリジナルカット技法や特殊技術で他店にはないオンリーワンを作る。講師として9年、学生の指導にあたり、現場の声を伝える。					
目的 科目概要	目的:カット、カラー、パーマの基礎、応用を理解し学ぶ 概要:美容師になったときに、必要とされる基本技術や応用技術をお互いに相モデルで体験し学ぶ					
到達目標	カット、カラー、パーマを駆使し、美容師としての基礎、知識を高め、スタイルを作り上げる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input checked="" type="checkbox"/> 作品					
教科書			事前事後 学習と その内容	自分の作りたいイメージを膨らませるため、本や携帯電話で作品を見る。グループワーク、相モデルで授業をするので、遅刻欠席はしないこと。		
教材						
特記事項	作品作りのため、授業により携帯電話の使用を許可する。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	カット	相モデルで2人一組に分かれカットする。(お客様とスタイリストの経験)
2	カット	相モデルで2人一組に分かれカットする。(お客様とスタイリストの経験)
3	カラー	カラーチャート作り
4	カラー	カラーチャート作り
5	カット、カラー	中間試験に向けて、デザインシート作り
6	カット、カラー	2週に分けて相モデル作品作り
7	中間試験	カット、カラー 相モデル作品発表
8	中間試験でのふり返り	相モデル作品を振り返り、よりよくするためにみんなで考える。
9	パーマ	パーマの理論、実技
10	カット、パーマ	相モデル
11	カット、パーマ	相モデル
12	カット、パーマ	相モデル
13	カット、パーマ	相モデル
14	カット、パーマ	定期試験に向けて、デザインシート作り
15	定期試験	カット、パーマ ウィック作品発表

科目名 (英)	※現場実習 Internship	年次	2	実務経験	担当	工藤竹啓
		授業形態	演習			
		時間数	120	有		
学科・コース	美容師実践科	単位	4			
講師紹介	美容業界に従事してきた講師が、就職活動に向けコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。自身が身に付けた美容業界で必要とされるための知識・コミュニケーション力の発揮の仕方などをお伝えします。					
目的 科目概要	仕事理解、職業理解を実際の現場で体験する					
到達目標	アシスタント技術の完成を目指す サロン勤務での業務を通して現場での実践力を磨く。					
評価方法	学則に定める評価とする。勤務先出勤簿、評価で行う。評価記述はS(合格)、U(不合格)とする。現場実習の出席時間数が必要時間数に満たない者は、修了の認定を行わない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品 <input checked="" type="checkbox"/> 報告書					
教科書	事前事後 学習と その内容					
教材						
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	デュアル実習説明	サロン、業界研究
2	デュアル実習説明	サロン、業界研究
3	デュアル実習説明	サロン、業界研究
4	美容師の仕事	アシスタントの仕事
5	実地訓練	報告書提出
6	実地訓練	報告書提出
7	実地訓練	報告書提出
8	実地訓練	報告書提出
9	実地訓練	報告書提出
10	実地訓練	報告書提出
11	実地訓練	報告書提出
12	実地訓練	報告書提出
13	実地訓練	報告書提出
14	実地訓練	報告書提出
15	実施訓練評価	受け入れ先からの評価フィードバックと課題確認

科目名 (英)	導入教育 First Year Experience	年次	2	実務経験	担当	工藤竹啓
		授業形態	講義			
		時間数	30	有		
学科・コース	美容師実践科	単位	1			
講師紹介	美容業界に従事してきた講師が、就職活動に向けコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。自身が身に付けた美容業界で必要とされるための知識・コミュニケーション力の発揮の仕方などをお伝えします。					
目的 科目概要	社会人、企業人である以上、その行動には、『自己責任』の考え方が欠かせない。その為にも新たな現実に対応する力を学び、身に付ける。					
到達目標	社会人になる為に、十分な予備知識を持ち、それなりの決意、覚悟を持って挑む必要がある、それが社会人、企業人としてのスタートをよりスムーズになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。個人課題評価とグループ課題評価を統合し、評価する。評価記述はS(合格)、U(不合格)とする。導入教育の出席時間数が必要時間数に満たない者は、修了の認定を行わない。					
教科書	新社会人基礎力	事前事後 学習と その内容	日頃の生活行動を常に振り返る			
教材	学生便覧・手帳・ポートフォリオ					
特記事項						

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	第1章 会社に入るとのこと 1、会社ってどんな存在なのかを知っておこう	法人にはどんな種類があるか 従業員は会社のために働くのが最大の義務
2	第1章 会社に入るとのこと 2、会社での働き方にもいろんな形態がある	正社員と非正社員との違いを知っておこう 周りに立場の違う人がいる可能性も
3	第1章 会社に入るとのこと 3、会社に所属することのメリット	会社員としての権利と義務を理解しておく メリットを生かして成長を目指す
4	第1章 会社に入るとのこと 4、会社員の給与の仕組みはこうなっている	年棒制や業績給導入企業も増えている 会社の規則や業種によって違ってくる
5	第1章 会社に入るとのこと 5、給与の額面と手取りの関係はこうなっている	額面は基本給＋各種手当なので決める 額面から20%～25%差し引いて考える
6	第1章 会社に入るとのこと 6、仕事上の事故などを補償してくれる労災保険	あなたを守ってくれる4つの社会保険 通勤途上の事故も労災保険の対象になる
7	1～6の振り返り 中間試験	中間試験・解説・まとめ
8	第1章 会社に入るとのこと 7、失業したときに心強い味方になる雇用保険	勤務5年以内なら求職者給付は90日 働く人は給与総額の0.3%を負担する
9	第1章 会社に入るとのこと 8、健康保険があるから医療費負担は3割ですむ	本人だけでなく家族も守ってくれる 中小企業では保険料は労使が折半で負担
10	第1章 会社に入るとのこと 9、老後の生活を安定させる年金保険制度	会社員になれば自営業者の3.5倍の年金 年金便りではなく自助努力も備える
11	第1章 会社に入るとのこと 10、会社員として知っておきたい労働時間制度	法律では1日8時間、週40時間 所定外労働時間には割増手当が付く
12	第1章 会社に入るとのこと 11、休日を上手に活用してリフレッシュしよう	大規模企業の90%が近くが週休2日制 年次有休休暇は10日からスタートする
13	第1章 会社に入るとのこと 12、変形労働時間制など働き方も変わりつつある	仕事の繁閑に合わせて調整する変形労働時間制 自分の責任で働き方を決められる制度も
14	第1章 会社に入るとのこと 13、会社で許されること許されないこと	まずは就業規則をしっかりとチェックしておく 公私の区別を明確にして仕事に取り組む
15	7～13の振り返り 定期試験	定期試験・解説・まとめ

科目名 (英)	導入教育 First Year Experience	年次	2	実務経験	担当	工藤竹啓
		授業形態	講義			
		時間数	30	有		
学科・コース	美容師実践科	単位	1			
講師紹介	美容業界に従事してきた講師が、就職活動に向けコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。自身が身に付けた美容業界で必要とされるための知識・コミュニケーション力の発揮の仕方などをお伝えします。					
目的 科目概要	社会人、企業人である以上、その行動には、『自己責任』の考え方が欠かせない。その為にも新たな現実に対応する力を学び、身に付ける。					
到達目標	社会人になる為に、十分な予備知識を持ち、それなりの決意、覚悟を持って挑む必要がある、それが社会人、企業人としてのスタートをよりスムーズになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。個人課題評価とグループ課題評価を統合し、評価する。評価記述はS(合格)、U(不合格)とする。導入教育の出席時間数が必要時間数に満たない者は、修了の認定を行わない。					
教科書	新社会人基礎力	事前事後 学習と その内容	日頃の生活行動を常に振り返る			
教材	学生便覧・手帳・ポートフォリオ					
特記事項						

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	第1章 会社に入るとのこと 1、会社ってどんな存在なのかを知っておこう	法人にはどんな種類があるか 従業員は会社のために働くのが最大の義務
2	第1章 会社に入るとのこと 2、会社での働き方にもいろんな形態がある	正社員と非正社員との違いを知っておこう 周りに立場の違う人がいる可能性も
3	第1章 会社に入るとのこと 3、会社に所属することのメリット	会社員としての権利と義務を理解しておく メリットを生かして成長を目指す
4	第1章 会社に入るとのこと 4、会社員の給与の仕組みはこうなっている	年棒制や業績給導入企業も増えている 会社の規則や業種によって違ってくる
5	第1章 会社に入るとのこと 5、給与の額面と手取りの関係はこうなっている	額面は基本給＋各種手当なので決める 額面から20%～25%差し引いて考える
6	第1章 会社に入るとのこと 6、仕事上の事故などを補償してくれる労災保険	あなたを守ってくれる4つの社会保険 通勤途上の事故も労災保険の対象になる
7	1～6の振り返り 中間試験	中間試験・解説・まとめ
8	第1章 会社に入るとのこと 7、失業したときに心強い味方になる雇用保険	勤務5年以内なら求職者給付は90日 働く人は給与総額の0.3%を負担する
9	第1章 会社に入るとのこと 8、健康保険があるから医療費負担は3割ですむ	本人だけでなく家族も守ってくれる 中小企業では保険料は労使が折半で負担
10	第1章 会社に入るとのこと 9、老後の生活を安定させる年金保険制度	会社員になれば自営業者の3.5倍の年金 年金便りではなく自助努力も備える
11	第1章 会社に入るとのこと 10、会社員として知っておきたい労働時間制度	法律では1日8時間、週40時間 所定外労働時間には割増手当が付く
12	第1章 会社に入るとのこと 11、休日を上手に活用してリフレッシュしよう	大規模企業の90%が近くが週休2日制 年次有休休暇は10日からスタートする
13	第1章 会社に入るとのこと 12、変形労働時間制など働き方も変わりつつある	仕事の繁閑に合わせて調整する変形労働時間制 自分の責任で働き方を決められる制度も
14	第1章 会社に入るとのこと 13、会社で許されること許されないこと	まずは就業規則をしっかりとチェックしておく 公私の区別を明確にして仕事に取り組む
15	7～13の振り返り 定期試験	定期試験・解説・まとめ

科目名 (英)	導入教育 First Year Experience	年次	2	実務経験	担当	工藤竹啓
		授業形態	講義			
		時間数	30	有		
学科・コース	美容師実践科	単位	1			
講師紹介	美容業界に従事してきた講師が、就職活動に向けコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。自身が身に付けた美容業界で必要とされるための知識・コミュニケーション力の発揮の仕方などをお伝えします。					
目的 科目概要	社会人、企業人である以上、その行動には、『自己責任』の考え方が欠かせない。その為にも新たな現実に対応する力を学び、身に付ける。					
到達目標	社会人になる為に、十分な予備知識を持ち、それなりの決意、覚悟を持って挑む必要がある、それが社会人、企業人としてのスタートをよりスムーズになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。個人課題評価とグループ課題評価を統合し、評価する。評価記述はS(合格)、U(不合格)とする。導入教育の出席時間数が必要時間数に満たない者は、修了の認定を行わない。					
教科書	新社会人基礎力	事前事後 学習と その内容	日頃の生活行動を常に振り返る			
教材	学生便覧・手帳・ポートフォリオ					
特記事項						

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	第1章 会社に入るとのこと 1、会社ってどんな存在なのかを知っておこう	法人にはどんな種類があるか 従業員は会社のために働くのが最大の義務
2	第1章 会社に入るとのこと 2、会社での働き方にもいろんな形態がある	正社員と非正社員との違いを知っておこう 周りに立場の違う人がいる可能性も
3	第1章 会社に入るとのこと 3、会社に所属することのメリット	会社員としての権利と義務を理解しておく メリットを生かして成長を目指す
4	第1章 会社に入るとのこと 4、会社員の給与の仕組みはこうなっている	年棒制や業績給導入企業も増えている 会社の規則や業種によって違ってくる
5	第1章 会社に入るとのこと 5、給与の額面と手取りの関係はこうなっている	額面は基本給＋各種手当なので決める 額面から20%～25%差し引いて考える
6	第1章 会社に入るとのこと 6、仕事上の事故などを補償してくれる労災保険	あなたを守ってくれる4つの社会保険 通勤途上の事故も労災保険の対象になる
7	1～6の振り返り 中間試験	中間試験・解説・まとめ
8	第1章 会社に入るとのこと 7、失業したときに心強い味方になる雇用保険	勤務5年以内なら求職者給付は90日 働く人は給与総額の0.3%を負担する
9	第1章 会社に入るとのこと 8、健康保険があるから医療費負担は3割ですむ	本人だけでなく家族も守ってくれる 中小企業では保険料は労使が折半で負担
10	第1章 会社に入るとのこと 9、老後の生活を安定させる年金保険制度	会社員になれば自営業者の3.5倍の年金 年金便りではなく自助努力も備える
11	第1章 会社に入るとのこと 10、会社員として知っておきたい労働時間制度	法律では1日8時間、週40時間 所定外労働時間には割増手当が付く
12	第1章 会社に入るとのこと 11、休日を上手に活用してリフレッシュしよう	大規模企業の90%が近くが週休2日制 年次有休休暇は10日からスタートする
13	第1章 会社に入るとのこと 12、変形労働時間制など働き方も変わりつつある	仕事の繁閑に合わせて調整する変形労働時間制 自分の責任で働き方を決められる制度も
14	第1章 会社に入るとのこと 13、会社で許されること許されないこと	まずは就業規則をしっかりとチェックしておく 公私の区別を明確にして仕事に取り組む
15	7～13の振り返り 定期試験	定期試験・解説・まとめ

科目名 (英)	テクニカルデザイン Technical Design	年次	2	実務経験	担当	小山 文生
		授業形態	演習			
		時間数	60	有		
学科・コース	美容師実践科	単位	2			
講師紹介	美容師として19年勤務し、お店の幹部として営業や後輩の指導、育成に力を注ぐ。自店のオリジナルカット技法や特殊技術で他店にはないオンリーワンを作る。講師として9年、学生の指導にあたり、現場の声を伝える。					
目的 科目概要	目的:カット、カラー、パーマの基礎、応用を理解し学ぶ 概要:美容師になったときに、必要とされる基本技術や応用技術をお互いに相モデルで体験し学ぶ					
到達目標	カット、カラー、パーマを駆使し、美容師としての基礎、知識を高め、スタイルを作り上げる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input checked="" type="checkbox"/> 作品					
教科書			事前事後 学習と その内容	自分の作りたいイメージを膨らませるため、本や携帯電話で作品を見る。グループワーク、相モデルで授業をするので、遅刻欠席はしないこと。		
教材						
特記事項	作品作りのため、授業により携帯電話の使用を許可する。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	カラー	相モデル デザインカラー
2	カラー	相モデル デザインカラー
3	カラー	相モデル デザインカット、カラー
4	カラー	相モデル デザインカット、カラー
5	カット、カラー	相モデル デザインカット、カラーのデザインシート作り
6	カット、カラー	2週に分けて相モデル作品作り
7	中間試験	デザインカット、カラー 作品発表
8	中間試験のふり返し	相モデル作品を振り返り、よりよくするために考える
9	シャンプーブロー	相モデルでシャンプーからブローまで一連の流れを体験する
10	シャンプーブロー	相モデルでシャンプーからブローまで一連の流れを体験する
11	シャンプーカット	相モデルでシャンプーからカットまで一連の流れを体験する
12	シャンプーカット	相モデルでシャンプーからカットまで一連の流れを体験する
13	シャンプーカット	定期試験に向けて、デザインシート作り
14	シャンプーカット	定期試験に向けて、デザインシート作り
15	定期試験	シャンプーからスタイリング仕上げまで作品発表

科目名 (英)	※現場実習 Internship	年次	2	実務経験	担当	工藤竹啓
		授業形態	演習			
		時間数	120	有		
学科・コース	美容師実践科	単位	4			
講師紹介	美容業界に従事してきた講師が、就職活動に向けコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。自身が身に付けた美容業界で必要とされるための知識・コミュニケーション力の発揮の仕方などをお伝えします。					
目的 科目概要	仕事理解、職業理解を実際の現場で体験する					
到達目標	アシスタント技術の完成を目指す サロン勤務での業務を通して現場での実践力を磨く。					
評価方法	学則に定める評価とする。勤務先出勤簿、評価で行う。評価記述はS(合格)、U(不合格)とする。現場実習の出席時間数が必要時間数に満たない者は、修了の認定を行わない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品 <input checked="" type="checkbox"/> 報告書					
教科書			事前事後 学習と その内容			
教材						
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	デュアル実習説明	サロン、業界研究
2	デュアル実習説明	サロン、業界研究
3	デュアル実習説明	サロン、業界研究
4	美容師の仕事	アシスタントの仕事
5	実地訓練	報告書提出
6	実地訓練	報告書提出
7	実地訓練	報告書提出
8	実地訓練	報告書提出
9	実地訓練	報告書提出
10	実地訓練	報告書提出
11	実地訓練	報告書提出
12	実地訓練	報告書提出
13	実地訓練	報告書提出
14	実地訓練	報告書提出
15	実施訓練評価	受け入れ先からの評価フィードバックと課題確認

科目名 (英)	※導入教育 First Year Experience	年次	2	実務経験	担当	工藤竹啓
		授業形態	講義			
		時間数	30	有		
学科・コース	美容師実践科	単位	1			
講師紹介	美容業界に従事してきた講師が、就職活動に向けコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。自身が身に付けた美容業界で必要とされるための知識・コミュニケーション力の発揮の仕方などをお伝えします。					
目的 科目概要	社会人、企業人である以上、その行動には、『自己責任』の考え方が欠かせない。その為にも新たな現実に対応する力を学び、身に付ける。					
到達目標	社会人になる為に、十分な予備知識を持ち、それなりの決意、覚悟を持って挑む必要がある、それが社会人、企業人としてのスタートをよりスムーズになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。個人課題評価とグループ課題評価を統合し、評価する。評価記述はS(合格)、U(不合格)とする。導入教育の出席時間数が必要時間数に満たない者は、修了の認定を行わない。					
教科書	新社会人基礎力	事前事後 学習と その内容	日頃の生活行動を常に振り返る			
教材	学生便覧・手帳・ポートフォリオ					
特記事項						

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	第1章 会社に入るといこと 14、知っておきたい職場内のトラブルとその対処法	職場のトラブルはまだ増えている 相変わらずトップを占める『いじめ』を巡る相談
2	第1章 会社に入るといこと 15、どんなときに解雇されても仕方がないのか	会社の事情による解雇にも条件が必要 悪いことをすればクビになって当たり前
3	第1章 会社に入るといこと 16、会社員なら避けられない人事異動や出向・ 転籍の知識	3年程度で定期的に異動になる企業が少なくない 同じ出向でも在籍と転籍では大違い
4	第1章 会社に入るといこと 17、もしも会社が倒産したらどうなるのか	やっと企業の倒産件数が減ってきた 倒産しても全員が解雇されるわけではない
5	第1章 会社に入るといこと 18、転職環境はそんな甘くない	経済情勢によって環境は変化する 20歳代なら転職で収入増加の可能性も
6	第1章 会社に入るといこと 19、時代を読み解く最新キーワード	●人生100年時代 2007年生まれ50%が100歳を超えて生きる 専門学校などの職業教育推進も大きな柱に
7	14～19振り返り 中間試験	中間試験・解説
8	チェックシート作成	会社、就職内定をイメージして項目に従ってプランを作成する
9	チェックシート作成	会社、就職内定をイメージして項目に従ってプランを作成する
10	チェックシート作成	発表・フィードバック
11	第4章 社会人基礎力	社会人基礎力とは何なのか
12	第4章 社会人基礎力	求められる3つの能力と12の能力要素
13	第4章 社会人基礎力	セルフマネジメント、チームマネジメント、プロジェクトマネジメント
14	第4章 社会人基礎力	セルフマネジメント、チームマネジメント、プロジェクトマネジメント
15	定期試験	社会人基礎力振り返り、試験、解説、まとめ